

ホームラン ニュース

発行：船橋市野球協会少年学童部

責任者：理事長 山田宣昭

編集：広報部

www.funabashi-gakudou-baseball.jp/

https://twitter.com/kouhou_funagaku

低学年大会・夏季大会特集号

第27回低学年大会 開幕



くく県大会デビューに向けてくくく

「貴重な経験の場に」



梅雨らしい、どんよりとした曇り空の下、「第27回低学年大会開会式」が行われました。総勢29チームが参加した開会式では、夏見台アタックス主将・土谷君が選手宣誓を行いました。曇り空に負けない、元気で堂々たる宣誓でした。

「低学年大会とロッテ旗杯」

船橋市少年学童部の低学年大会は、それまで4年生以下の選手が参加出来る大会がなかったことから、低学年大会と銘打って1993年(平成5年)に第1回大会が開催されました。その後、1995年(平成7年)千葉県少年野球連盟が千葉ロッテマリーンズの協賛の下、千葉県少年野球低学年大会(ロッテ旗争奪戦)第1回大会を開催し今年で25回目を迎えました。船橋地域からは、毎年低学年大会で勝ち抜いた上位チームがロッテ旗杯へ派遣されています。

船橋地域の代表として、選手達は本格的な大きな大会の舞台で、日頃の練習で培った成果を思う存分発揮しています。

今大会では、まだ幼さの残る選手達の元気で希望に満ちた表情をたくさん見ることが出来ました。共に目標を掲げ、低学年大会で仲間と共に得た様々な経験は、何事にも変えられない貴重なものになることでしょう。その経験をもとに、続く5年生で、さらに高い場所を目指して頑張ってください。



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

令和最初のロッテ旗杯決勝が9月23日に行われ、船橋地域代表同士の決勝戦となりました。結果、習志野台ワンパクスが2年連続の優勝、習志野サンデーズが準優勝と、船橋地域の選手達が見事に優勝と準優勝の栄冠を手に入れました。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

第27回
低学年大会 **優勝 習志野台ワンパクス**



3年連続6回目 V

週末にばかり降る雨の影響で順延が重なり、8月も終わりに近づいた24日、豊富グラウンドで低学年大会の決勝戦が行われました。3年連続優勝を狙う習志野台ワンパクスが、見事にその栄冠を手に入れました。

法量 章太郎

今回、低学年大会を3連覇する事ができました。監督、コーチ達のご指導のもと仲間達とたくさん練習してきた成果だと思います。ぼくは3回とも試合にレギュラーで出ました。一昨年は大変緊張して、ぼくの所にボールが来ないと良いなど少し思っていました。昨年は、ぼくの所にきたボールは絶対にとってやるという気持ちでいました。そして今年は、ぼくの所にボールが飛んで来い、全てのボールをとってアウトにしてやるという気持ちでした。ワンパクスでの野球の練習が自信になっているんだと思います。今回優勝できたのも良い仲間がいたからです。同じ目標を持って野球が大好きな仲間達です。ぼくはキャプテンをやっていますが、みんなの支えがあつてのキャプテンです。ぼくが打てなかった時は仲間が打ってくれる、とれなかった時はフォローしてくれました。仲間を助けながらも自分も強く上手になりたいと思う選手ばかりなので、みんなが良きライバルです。最後にいつも全力で応援してくれる監督、コーチ、お父さん、お母さん、ありがとうございます。これからも全力で野球を頑張ります。

溝井 駿太

ぼく達は、低学年大会で3年連続優勝をするために、チームの仲間とたくさん練習してきました。ぼくは、キャッチャーをしています。がんばった事は、最初みんなにしじを出したり出来なかったけれど、この大会では大きな声でプレーする事を意識しました。それは、これからも続けたい事です。決勝が始まる前は、すごくきんちょうして手がふるえました。だからぜったいに勝つという強い気持ちを思い出してがんばりました。そして決勝は六対〇で勝ちました。今までの試合、全部楽しかったです。いつもおうえんしてくれる、お父さんお母さんありがとう。ぼく達は、いつもかんとく、コーチからたくさんの事を教わっています。そして一番練習している自信があります。その自信を持って、船橋代表としてロッテきでがんばりたいです。

第27回
低学年大会

準優勝 習志野サンデー



北崎 悠太郎

チームの目標は低学年大会の優勝でした。優勝するために僕たちは、いろいろな練習をくり返しながらがんばりました。それでも決勝では1点も取れずに負けてしまい、準優勝だったけどすごく、くやしかったです。決勝では勝ち進んできた試合の感じではなく、いつもよりチームの元気がなかったの、僕がもっともり上げられたら、みんながもっと元気にがんばることができたのかなと思いました。また、ぼくがピッチャーで苦しい場面の時、みんなが僕に声をかけてくれて気持ちが楽になり、がんばることができました。1点を取ることのむずかしさと、声をかけ合うことの大切さをとても感じた決勝でした。これからどんな試合でも、僕たちのすべての力を出し切れるように、キャプテンとして野球以外のときでも声をかけていこうと思います。

僕たちを支えてくれている人に感謝して、今まで以上に一生けんめい練習して、みんなを引っばっていけるように全力でがんばります！



小川 叶希

ぼくは低学年大会で優勝するために、チームのみんなと一緒に一生懸命練習をしてきました。特にバッティングでセンター返しを意識して打ってきました。1回戦の夏見パワーズ戦ではピッチングの調子が良く、無失点でおさえることができました。2回戦の若潮スワローズ戦はチームのみんなと声を出し、ベンチを盛り上げることができたので、大量得点で勝利しました。3回戦の前原エイトマン戦は4打数4安打でチームで活躍できたと思います。ピッチャーフライでエラーをしたけど、なんとかおさえることができました。4回戦のツインドルフィンズ戦ではフォアボールが多く、点を取られてしまいました。勝ったけど決勝戦までに練習しないといけないなと思いました。決勝戦の相手は習志野台ワンパクスでした。強いチームだから、絶対勝ちたいと思ったけどみんな打てなかったし、点も取られてしまい負けてしまいました。今までで1番悔しかったです。この試合は絶対に忘れないです。県大会では悔しい思いをしなくていいように、みんな練習します。お父さんお母さんに感謝、グラウンドに感謝、チームメイトに感謝、相手チームに感謝、道具に感謝。Cチームみんなで優勝目指して頑張ります。



第27回
低学年大会 第3位

西海ドラゴンズ

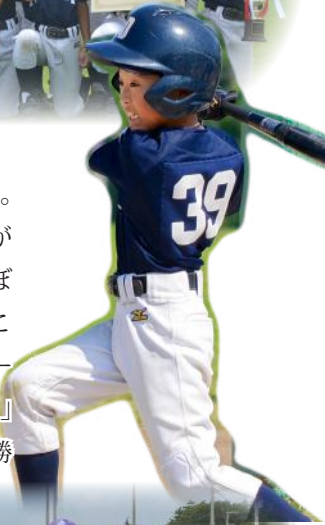
山崎 瑛丸

ぼく達西海ドラゴンズは『船橋市で優勝、そしてロッテ旗県大会出場』をチームの目標として、一生けん命に練習してきました。ワンバクズとの準決勝は、『絶対勝つぞ!』というみんなの強い気持ちを感じました。初回に連打を浴び3点先制されましたが、2回すぐに2点を返し必死に食い下がりました。何度かチャンスはありましたが、あと1本が出ず、5対3で負け、悔しくてみんな涙が止まりませんでした。しかし、ぼく達は、ここから気持ちを切り替えました。なぜなら、午後からの代表決定戦というロッテ旗県大会出場の目標をかなえるラストチャンスが残っていたからです。相手はツインドルフィンズ、勝てばみんなで願った県大会。暑さの中の2試合目は疲れもありましたが、みんなで声を出し合いました。みんなの勝ちたいという気持ちが通じ7対4で勝ち、夢にまで見た県大会出場を決めることができました。この大会では、準々決勝でサドンデスを経験したり、集中力を切らすことのできない1日2試合を経験したり、いろいろな経験ができ、チームが成長できたと思います。この経験を生かし、県大会でも仲間を信じ、勝ちたい気持ちと元気なプレーで、優勝を狙います!



南條 佳太

負けられない3位決定戦。相手はツインドルフィンズ。初回の打席は見のがし三振。1回は0対0で終わった。2回表はみんながつないでくれて、2アウト満塁いでぼくの打席になった。1打席目前の試合でも、見のがし三振をしてしまったので、追い込まれる前に打とうと思った。内角低めのボールを引っかけてしまった。ぼてぼての当たりだったが、あきらめないで走った。かけぬけたらぎりぎりアウトになると思った。練習したことはないけれど、ヘッドスライディングをした。砂けむりがうすくなったら、しん判のセーフのジェスチャーが見えた。先取点が入った。7対2で最終回。2点取られた。監督が「あとアウト1つだ。みんなで声を出さず。」と言ったので、チーム全員で声を出して1つになった。7対4で県大会出場を決めた。ロッテ旗では、準決勝で負けたワンバクズに今度こそ勝って、絶対に優勝したい。



第3位 ツインドルフィンズ

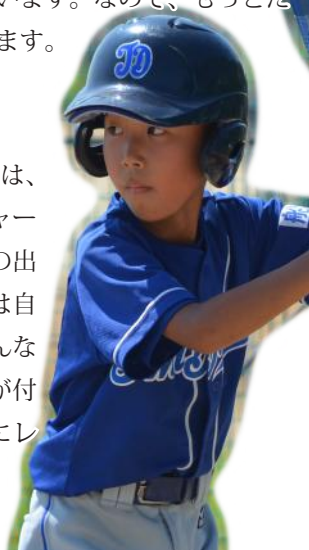
板倉 光陽

ぼくは、3年生の時に続き、4年生でもキャプテンになりました。昨年のルーキーリーグでは2勝しかできず、トーナメントでも2回戦で負けてしまいました。キャプテンとしても何もできず、とてもくやしかったです。なので、低学年大会では2回戦以上勝つ事と、キャプテンとしてまわりを良く見て声をかける事を、自分の目標にしました。試合では、みんなでピンチの時は声を出し、チャンスの時は盛り上げ、チームがひとつになって戦い準決勝まで来る事ができました。でも、準決勝は6対11で負けてしまいました。負けたのはとてもくやしかったけれど、練習試合の時は1対14で負けたチームから6点も取れた事はうれしかったです。それは監督、コーチ、代表から守備やバッティングを教えてもらい、みんなとたくさん練習をして一緒に成長できたからだと思います。なので、もっとたくさん練習をして強くなりたいです。そして、来年の大会では優勝する事を目標にします。



藤田 一輝

低学年大会は『ロッテ旗』出場を目標にしてきました。一回戦、二回戦と勝ち上がって、ベスト8になった頃には、負けたくない想いがどんどん強くなっていきました。ベスト4を賭けたFTJとの戦い、僕はファーストとピッチャーで出場しました。試合は点の取り合いで、4回裏10-9ノーアウト逆転サヨナラのピンチでピッチャーとして僕の番になりました。しかし、緊張してフォアボールの満塁押し出しをしてしまいました。サドンデスになって、僕は自分が取られた点を取り返す気持ちで打席へ向かい、タイムリーヒットを打つことが出来ました。その回の裏、みんなで守り抜き勝つことができました。翌日の準決勝、代表決定戦は負けてしまいましたが、ベスト4で自信が付いた部分と、頂点を取れなかった悔しい思いと両方を感じました。来年の春季大会は監督の教えのもと攻守ともにレベルを上げ、優勝を目指してみんなでがんばりたいです。



第44回船橋市少年学童野球選手権大会 開幕



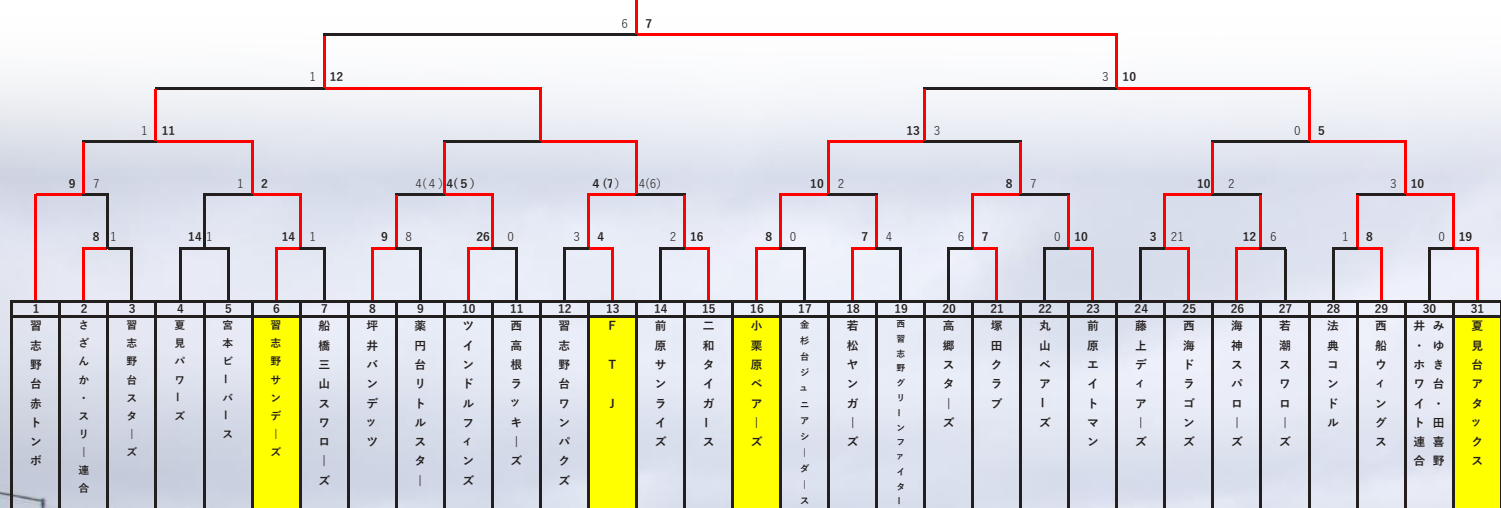
夏季大会

最後の県大会出場を懸けて

今年の夏は、狙ったかのように毎週末が雨、雨、雨。夏季大会開会式が行われた七月十五日は今にも雨が降り出しそうなお天気の中での開催となりました。前日の大雨で、グラウンドコンディションが非常に悪く、開会式は高瀬運動広場にて行われました。西海ドラゴンズ主将、長島君が全チームを代表し、選手宣誓を行いました。

6年生にとって最後の県大会出場を懸けて、熱い戦いが繰り広げられます。上位4チームは十一月に行われるろうきん旗大会へ出場します。

優勝 夏見台アタックス



第44回
夏季大会

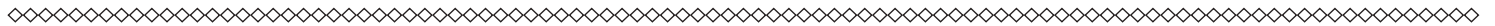
優勝

夏見台アタックス V
2年連続3回目

井上 舜也

昨年、僕は先輩たちと一緒に夏季大会で優勝しました。昨年と同じ日報杯で優勝できたので、今年も出来る！と信じて準々決勝、準決勝、決勝を戦いました。また、僕たちは、夏休みで幾つかの大会に参加、沢山の選手が試合に出て、暑くて苦しい試合も沢山経験した事で、全員で全員を応援する事ができるようになり、とても気持ちの強いチームに成長できました。決勝戦は警察署長杯で負けたFTJさんだったのでリベンジしたい、と意気込んでいました。自分達のペースで試合を進め、最後は追い付かれそうになったけど、ベンチ、下級生の応援でチームが一つになり苦しい試合でも強い気持ちをもって乗り切り、優勝する事が出来ました。

決勝戦の後にルーキーの決勝戦に行き、いつも応援してくれているお返しに、6年生で応援できたのも楽しかったし、良かったです。卒団までベンチ全員の選手と試合と一緒に戦い、皆でアタックスを楽しみたいです。



釜本 龍之介

僕はチームの目標である全国大会に出場して優勝する！さらに、出場する全ての大会を優勝するという目標を達成するために、日々努力をしてきました。しかし、春季大会は決勝戦で負けてしまい、チームの目標は達成できなくなってしまいました。そこで、残りの大会を全て優勝するという目標に切り替え、いよいよ夏季大会は順調に決勝戦まで勝ち進み、強力打線のFTJ相手に「7対6」と接戦で勝ち、チームの目標の一つ達成できた事は本当に嬉しかったです。ただ、五回から自分が登板し、絶対におさえて勝つという強い気持ちでマウンドに立ったのですが、最終回はエースにマウンドをゆずることになってしまい、とても悔しい大会になってしまいました。残りの大会は、チームとしても個人としても嬉しい結果となるよう、今までサポートしてくれた監督・コーチ・お父さん・お母さんに感謝し、さらに努力して頑張っていきます！



福田 悠人

僕達の目標は、全国大会優勝でした。しかし、春季大会の決勝で負けてしまいました。なので、夏は絶対優勝するぞという強い気持ちで夏季大会に臨みました。準決勝までは、大差で勝ち進んできましたが決勝戦はそうはいきませんでした。決勝戦は、宿敵FTJさんでした。FTJさんとは決勝戦で何度も当たっています。特に、警察署長杯の決勝では3連覇がかかっていたので、負けてしまってとても悔しかったです。だから、絶対に勝つという気持ちでした。決勝では、初回に1点を入れ、その後も追加点を入れていきました。いつもの赤い野球をし最後まで油断をしませんでした。結果は1点差で勝利し、夏季大会2連覇を成し遂げることができました。優勝した時は、とても嬉しかったです。この大会を通じて、一生懸命指導していただいた監督やコーチに感謝して、今後の大会もこのチームで優勝を目指して頑張りたいと思います。



第44回
夏季大会

準優勝

F T J



春季大会で負けたくやしさを夏季大会で晴らす。

これがぼくたちの目標だった。

一回戦から準決勝までどのチームも強敵で、

手に汗にぎる苦しいゲームが続いた。

やっとの思いで決勝にたどり着いた。

絶対に負けられない。絶対に負けたくない。

決勝戦。

先制点を許し、追加点をとられ、じわじわ点差が離されていく。雰囲気が悪くなり、

みんなが何とか追いつかなければと気持ちばかりがあせる。そんな中、新里君がホームランで点差を縮めてくれた。

運命の最終回。

みんなの気持ちが一つになり、連打でつないで、ツーアウト一点差まで追いついた。ぼくは最後まで声を出し続けた。

ただ、あと一つ、あと一点が遠かった。結局逆転することはできず、試合は終わった。

この一点の差は、一人ひとりの気持ちの差だと思う。

夏季大会の敗戦を糧にレベルアップして、最後の県大会 ろうきん杯では、千葉県ナンバーワンを目指して、みんなでもっと強くなる！！

島内 駿弥



山浦 雄駿

この夏季大会は今までの思いをぶつける大会として優勝だけを目指した大会でした。

一回戦からむずかしい試合ばかりでしたが、全員で準決勝まで進むことが出来ました。

そして決勝戦。

仲間と一緒に楽しみながら、精一杯やれば結果は出ると信じていましたが、6回終わって7-3で負けていました。

しかし最後の攻撃の時、監督に「気持ちをこめて意地を見せてこい！」と言われました。

ここでみんなの気持ちがさらに1つになり一点差まで追上げる事が出来ました。

負けてしまったけど、僕は今まで監督やコーチに教えてもらった「全員野球」が出来た大会だったと思うので、くやしいけれど悔いは残りませんでした。

この仲間と一緒に野球が出来るのもあとわずかだけれど、みんなで勝ち取ったろうきん杯では優勝を目標に、もっともっと練習をして「全員野球」を目指していきたいと思います。



第44回
夏季大会**第3位 小栗原ベアーズ**

阿部 響

夏季大会で感じた事は、対戦相手の実力が上がったのを感じました。自分のチームは、上達しているのかよく分かりませんでしたが、試合を通して自分のチームも成長しているのだなと実感しました。今大会でがんばった事は、場面にあったバッティングやチームの応援など自分の出来る限りの事をしました。その結果惜しくも決勝には行けませんが、ベスト4という良い成績を残すことができました。うれしかったことは、春夏と二回の県大会が決まった事です。前はベスト8で終わってしまったのでその成績を越えたいです。もう一つうれしかったことは、五年生と六年生の最初は、スランプで全然打てず自信が持てませんでした。しかし春の県大会の三回戦で、延長のサドンデスで決勝打を打って自信が持てました。そして夏の大会で四安打しました。打って良かったです。最後に今の仲間と県大会で優勝したいです。



吉澤 寛慈

ぼくが所属するチームの小栗原ベアーズは、ろうきん旗県大会に向けて、選手権大会にいどみました。初戦は、金杉台ジュニアシーダースとの対戦。試合は小栗原ベアーズがとても打ちこみ、8対0で圧勝しました。ぼくも打げき面でチームにこうけんできたので良かったです。2回戦の相手は若松ヤングースでした。この試合も小栗原が若松を相手になかなか打ちこみました。結果2対10の二桁得点でこの試合も勝ちましたが、自分がチャンスで打てない場面が目立ちました。そして、準々決勝へチームは進みました。相手は塚田クラブ、前の2試合は打げきで押している中、この試合も打げきでごり押しし、チームも13対3と3試合全て、打げきで打ちまくって勝ちました。自分も2安打2打点とチームのためになれてよかったです。やはり、一人が打つとものってきてみんな打つと思いました。

**第3位 習志野サンデーズ**

中谷 暁

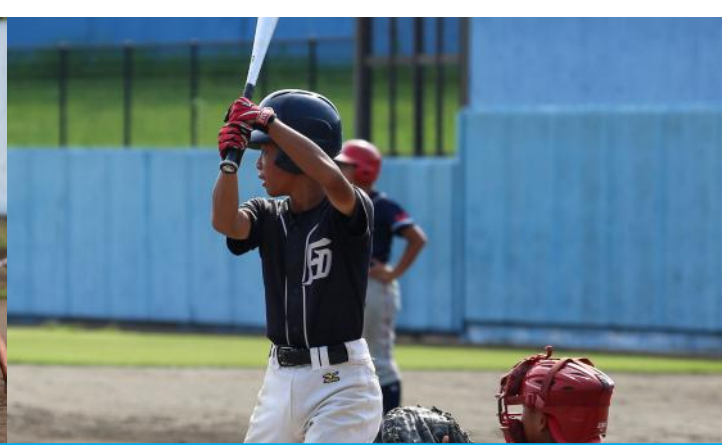
僕たちはずっと県大会に出場できるよう、代表、他沢山のコーチの元、一生懸命練習してきました。打って勝つ試合をするために、バッティング練習を沢山してきました。一人一人のフォームやクセなど、細かいところまで指導していただきました。しかし、なかなか試合では全員が上手く打てなかった時もあり、試合の内容はあまりよくなかったと思います。そんな中試合に勝ち進み、県大会出場が決まる日、先制点を取られ、チームの雰囲気も良くない中、一点差で抑える守備ができ「勝てる！」とみんなが思い、心を一つにしました。そして4回裏、ついに練習の成果をみんなが発揮でき、勝利をつかむことができました。僕はキャプテンとして、みんなが自分自身で気持ちを上げられるように声掛けをしたり、決して下を向かないように声をだし続けました。みんなのこの気持ちが大事なんだと、改めて思いました。この気持ちを持ち続け、県大会に向けて練習をし、県大会では良い成績を残したいです。この仲間とも一緒に野球をやる時間がもう少ないので、楽しく一生懸命、全員野球をしたいと思います。



小川 空輝

僕は夏季大会優勝を目指して、毎日練習を頑張ってきました。特にバッティングでアウトコースを打てるように練習しました。三山スワローズ戦ではサンデーズ打線が爆発し、大量得点で快勝しました。夏見パワーズ戦では1回戦目とは対照的に皆んなが打てず、改めて僕のチームは誰か一人が打つと打線が繋がるんだなと思いました。やはり、ベンチの盛り上がりチームの雰囲気は大事だなと実感しました。3回戦、ついに習志野台赤トンボ戦。勝ちたいとは思って反面、「勝つのは難しいかな」という気持ちもありました。初めに1点取られて、やっぱり相手の方が格上だと思いました。でも2、3回は失点0。サンデーズも無得点。4回表途中登板だったけど、なんとか0点で抑える事が出来ました。4回裏、ついにサンデーズ打線が爆発しました！僕はずっと不調だったけれど、やっとセンター前ヒットが打ってその後も皆んなが続いてくれてまさかのコールド勝ちでした。やっぱり野球は何があるか分かりません。最後の皆んなの笑顔は本当に最高でした！準決勝、FTJ戦。最後まで何が分かるか分からないから、諦めたくなかったけれど負けてしまいました。残念ながら、第3位。でも県大会に行けます。今のメンバーで戦えるのもあと少し。1試合1試合を大事に丁寧に、そして楽しく笑顔で頑張りたいと思います。Aチーム全員で優勝目指して頑張ります！





2019 船橋選抜 ～セレクション～

8月31日、船橋運動公園野球場にて、船橋選抜チームの選手選考会(セレクション)が行われ、20チームから51名の選手が参加しました。

我こそは船橋地域の代表選手にと集まってくれた選手達。グラウンドでの真剣なまなざしが、とても印象的でした。その中から選ばれた20名の選手は、11月に行われる地域対抗6年生選抜大会に出場します。



船橋選抜チーム編成

武内 鴻樹 (習志野台ワンパクス)	大塚 壮二郎 (ツインドルフィンズ)
乾 僚太郎 (習志野台ワンパクス)	石井 寛也 (F T J)
中尾 湊帆 (習志野台ワンパクス)	山浦 雄駿 (F T J)
松田 大輝 (習志野台ワンパクス)	新里 琉真 (F T J)
矢口 奏良 (西習志野グリーンファイター)	島内 駿弥 (F T J)
宮武 凛人 (習志野台赤トンボ)	河浦 颯翼 (西船ウィングス)
大木 陽翔 (習志野台赤トンボ)	岡本 侑真 (西船ウィングス)
高野 龍志 (習志野台赤トンボ)	鶴岡 遼大 (藤上ディアーズ)
篠原 駿介 (習志野台赤トンボ)	池本 魁 (小栗原ベアーズ)
清水 公輔 (二和タイガース)	成瀬 哉柔 (西海ドラゴンズ)

順不同敬称略

派遣大会結果

- ★第6回 千葉県少年野球女子大会 ----- 船橋女子選抜 3位
- ★高円宮賜杯 第39回全日本学童軟式野球大会 ----- 習志野台赤トンボ ベスト4
マクドナルド・トーナメント千葉県予選大会
- ★第42回 関東学童軟式野球大会 ----- FTJ 出場
・東京新聞カップ千葉県大会【マクドナルド・カップ】
- ★第42回 東葛親善少年野球春季大会 ----- 塚田クラブ 優勝
- ★第49回 千葉県少年野球大会 (千葉日報旗) ----- 夏見台アタックス 優勝 小栗原ベアーズ 出場
二和タイガース 出場 習志野台赤トンボ 出場
- ★第25回 千葉県少年野球低学年 (ロッテ旗争奪) 大会 ----- 習志野台ワンパクス 優勝
習志野サンデーズ 準優勝 西海ドラゴンズ 出場